



竹田 努 議員

いっばん

問 高齢化率40%超 新たな施策は

答 福祉施策の具現化 次期振興計画に引き継ぐ 町長

質問 第5次木古内町振興計画は今年度が集大成で、先の議会でも第6次に目指すものも「福祉都市きこない」と明言しているにも関わらず、新たな福祉関連予算や福祉施策が出て来ないのは非常に残念です。

次の4点について、町長の考えを伺います。
①屋根等の雪下ろしや家屋周辺の雪の始末等に、何らかの支援策があつてもいいのでは。

②高騰する福祉灯油に対しても配慮すべきでは。
③高齢者のかたの活用も含めた就労の場等の提供の検討は。

④お楽しみ場の場づくりとしての、「はつらつ演芸会」の件について。

大森町長 ①屋根の雪下ろしに対し、支援金という形で支援策は考えていません。

ボランティア団体や職員による出動、除排雪作業事業者の情報提供については、今後も継続できるように努め、高齢者の安全確保につなげます。
②今年度は、18リットルの灯油券5枚綴りを65歳以上の高齢世帯45、母子家庭世帯1の計46世帯に対し配

布しています。
今後、価格の推移や社会情勢の動向を注視し、支援の数量を判断したいと考えています。

③高齢者の方々の技術や能力等を生かし、高齢者事業団が活動しており、除雪サービスでは高齢者の皆さんが感謝しています。

④町財政の健全化の一環として敬老会を廃止し、高齢者が集う会として手

当で進めてきました。

今後も、楽しんでいただけるよう創意・工夫をしていきます。

病院等の経営理念 具体的な考えは

質問 4月からは、介護老人保健施設の管理を含め、マンモス化した国保病院事業の新年度に向けた病院経営理念は。

また、介護老人保健施設と地域包括ケアシステムの構築を目指すことと強調していますが、医療と介護が連携することによる事業管理者の考えを伺います。



2040年の人口推計は、2,335人となっていますが、福祉施策を第6次木古内町振興計画にどのように反映するのが課題です

小澤病院事業管理者 日本病院機能評価機構が実施する審査を受け、合格することを目指します。

審査項目には、病院が目指す理想的なあるべき姿をグローバルな視点で定めた評価基準があり、合格点を取るには院内態勢を患者中心に構築することが大前提で、病院改革を自ら前進させることになり。

また、ガン登録の罹患率では乳ガンが第1位となっていることから、乳房X線撮影装置を設置して、乳ガン検診を推進したいと考えています。基準をクリアすれば、道南の南西部でははじめての認定施設になることから準備を進めています。

地域包括ケアシステムは、保健・医療・介護・福祉の関係者が連携してサービスを提供することであり、昨年から予防医学に拍車がかかってきています。

地域の全ての高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、入院・退院・在宅復帰に向けて切れ目のない継続的なサービスの提供を目指していきます。